

島田一郎 （以養） 陸軍軍人。嘉永元年加賀國生れ、明治十一年七月一  
 十七日没（二八四一七〇）。別稱助太郎、一良。藩黨肝瀨館（尊ぶ。戊辰  
 役に従軍、のち大村陸往。維新時の加賀藩の處遇に慷慨、不平と族五  
 名と上京、参議大村深利通を襲撃して一回自首、斬刑に處せられた。  
 文獻、起泉子著「島田一郎梅雨日記」（共川春濤贈、明治十九年七月  
 自由閣。再刊。二十六年四月）二十一日 （英） 大川屋書店）等。